

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月31日

事業所名 高山市立いきいき広場  
すくすく教室

|                          | チェック項目   | はい | いいえ                             | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                   |
|--------------------------|--|----|---------------------------------|---|--|
| 環境・体制整備                  | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である  | 4  | 0                               | ・利用定員に対して十分な広さがある。  | ・遊びのコーナーを作るなどして広さを活かしていきたい。                |
|                          | ② 職員の配置数は適切である   | 4  | 0                               | ・二人体制で丁寧に関わりができるようにしていく。  | ・引き続き二人体制で丁寧に関わり、安全に遊ぶことへの配慮を大切にしていきたい。    |
|                          | ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている   | 4  | 0                               | ・生活環境は構造化し、個の特性に合わせた環境設定を行っている。   | ・安全に配慮して集中できるような環境を整えていく。                  |
|                          | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている   | 4  | 0                               | ・こまめに換気や消毒を行っている。   | ・引き続き、清潔な空間となるように努めていく。                    |
| 業務改善                     | ⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している  | 4  | 0                               | ・日々の療育後に評価や反省をして、目標を確認しながら次の取り組みを検討している。                                  | ・目標設定について、定期的に評価及び反省をしていく。                 |
|                          | ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている  | 4  | 0                               | ・毎年行い、業務改善につなげている。  | ・結果を踏まえて、業務改善につなげていく。                      |
|                          | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 4  | 0                               | ・自己評価・保護者向け評価を実施し、集計したものを市のホームページに掲載している。                                 | ・ホームページに掲載することをメールなどで保護者に周知する。             |
|                          | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている   | 0  | 4                               | ・第三者による外部評価はしていない。  | ・第三者による外部評価の実施について検討を進めていく。                |
|                          | ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している  | 4  | 0                               | ・市や県が実施する研修に積極的に参加し資質向上に努めている。  | ・研修に参加する際は人員配置を工夫しサービスに支障が出ないようにしている。      |
| 適切な支援の提供                 | ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 4  | 0                               | ・定期的に面談にてアセスメントを行い、保護者ニーズや課題に沿った支援計画になるようにしている。                           | ・保護者に分かりやすい文言の支援計画にすることや、達成感、満足感が持てるものとする。 |
|                          | ⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 0  | 4                               |   | ・現在ツールを使用していないため、今後考えていきたい。                |
|                          | ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4  | 0                               | ・アセスメントを丁寧に行うことで本児の困り感やまた強みとなる部分を分析し、ニーズに合わせて、運動・言葉・社会性の分野に分けて支援内容を考えている。 | ・保護者の方にも分かりやすい支援計画となるように、書き方や説明に配慮していく。    |
|                          | ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 4  | 0                               | ・支援計画を日誌にも記載し、目標を確認しやすいようにしている。   | ・子どもの状況と計画を照らし合わせて支援するようにしている。             |
|                          | ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 4  | 0                               | ・職員間で相談して活動プログラムを立案している。  | ・引き続き話し合いながら進めていく。                         |
| ⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4  | 0  | ・子どもの意欲を引き出せるよう、内容や環境設定を工夫している。 | ・一人ひとりの子どもに合わせた活動プログラム、支援方法を試行錯誤していく。話し合う時間の確保に努めている。                     |  |

|                               | チェック項目   | はい | いいえ                     | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                |
|-------------------------------|--|----|-------------------------|---|---|
|                               | ①⑥ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している                                | 4  | 0                       | ・子どもの状況に応じて計画を作成している。   | ・引き続き子どもの状況に合わせて必要な支援を見極めていく。                           |
|                               | ①⑦ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                              | 4  | 0                       | ・療育前には支援の内容や、役割分担を確認している。   | ・打合せを行えるように時間の確保に努める。                                   |
|                               | ①⑧ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                         | 4  | 0                       | ・時間を確保して行う。   | ・日誌には課題も記録することで次の支援につなげる。                               |
|                               | ①⑨ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている  | 4  | 0                       | ・次の支援につながるように、療育日誌に記録している。  | ・振り返りがしやすいように、ポイントを押さえた書き方をするように努めている。                  |
|                               | ②⑩ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                       | 4  | 0                       | ・児童発達責任者と、各事業所の担当者で必要性を判断している。  | ・個別記録、保護者への活動記録を読み返し、モニタリングに反映していく。                     |
| 関係機関や保護者との連携                  | ②⑪ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                           | 4  | 0                       | ・児童発達管理責任者が参画している。  | ・必要な場合は各事業所の担当者も同席する。                                   |
|                               | ②⑫ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                       | 4  | 0                       | ・子ども発達支援センターと連携した取り組みを行っている。  | ・情報共有ができる体制づくりが必要。                                      |
|                               | ②⑬ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている |    |                         |   | ・今年度は対象になる子どもがいなかった。                                    |
|                               | ②⑭ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             |    |                         |   | ・今年度は対象になる子どもがいなかった。                                    |
|                               | ②⑮ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている               | 4  | 0                       | ・園訪問や引継ぎシートにて情報共有を行っている。  | ・引継ぎシートを作成し、保護者から就学先など必要と思われる関係機関に提出してもらい、支援の引継ぎを行っている。 |
|                               | ②⑯ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                           | 4  | 0                       | ・引継ぎシートにて情報共有を行っている。  | ・引継ぎシートを作成し、保護者から就学先に提出してもらい、支援の引継ぎを行っている。              |
|                               | ②⑰ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                    | 4  | 0                       | ・子ども発達支援センターが実施する療育研修に参加し、他の事業所との連携に努めている。                                | ・内容について検討しながら研修を続けていく。                                  |
|                               | ②⑱ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                                     | 4  | 0                       | ・併設園から療育に通っている子どもが在籍する。クラスの友だちを招待し一緒に遊ぶ会を開催した。                            | ・引き続き、併設園のお子さんとの交流をしていくことで、療育への理解につなげていきたい。             |
|                               | ②⑲ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                     |    |                         | ・会議参加の依頼がなく参加していない。   | ・会議参加の依頼があれば参加したい。                                      |
|                               | ③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                              | 4  | 0                       | ・活動記録を通して保護者に伝え、返答をもらい、必要に応じて面談を行っている。                                    | ・保護者からの質問や相談があれば、子や保護者に寄り添い丁寧にに応じていくように努めている。           |
|                               | ③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                  | 4  | 0                       | ・子ども発達支援センターが主催となるペアレントトレーニングの学習会を開催した。<br>・面談の際に具体的な関わり方のアドバイスをを行うこともある。 | ・今後も子ども発達支援センターと連携して、ペアレントトレーニングが実施できるように検討していく。        |
| ③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4  | 0  | ・契約時、児童発達管理責任者より説明している。 | ・書類をサポートブックに綴ってもらい、保護者も確認をしやすいようにしている。                                    |   |

|                                       | チェック項目  | はい | いいえ               | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                 |
|---------------------------------------|---|----|-------------------|--|--|
| 保護者への説明責任等                            | ③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 4  | 0                 | ・保護者に分かりやすく説明し、個々に応じた課題の取り組みを具体的に知らせている。         | ・同意が得られた個別支援計画を書類で渡し、サポートブックに綴ってもらっている。                  |
|                                       | ③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 4  | 0                 | ・必要に応じてその都度、電話相談や面談を行うようにしている。                   | ・定期的な保護者支援を行うとともに、突発的な保護者の要望にも迅速に伝えていく。                  |
|                                       | ③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 0  | 4                 | ・今年度は行うことができなかった。                                | ・保護者の関わりの場が持てるよう今後も計画していく。                               |
|                                       | ③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 4  | 0                 | ・その都度相談に応じている。<br>・迅速に対応し、記録する。                  | ・突発的な保護者の要望にも応えていけるよう努めるとともに、対応が十分できるように職員の業務調整に配慮していく。  |
|                                       | ③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 0  | 4                 | ・個別に情報を伝えている。                                    | ・緊急時（災害時など）においてはメールにて迅速に対応できるようにしている。                    |
|                                       | ③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している  | 4  | 0                 | ・個人情報に関わる書類や、パソコンは鍵のかかる棚に片づける。<br>・個人情報は他言しない。   | ・引き続き個人情報の取り扱いには細心の注意を払う。                                |
|                                       | ③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている  | 4  | 0                 | ・併設園とも連携し、丁寧な関わりが持てるよう配慮している。                    | ・定期的に行う以外にも、個々の状況に応じて連絡を取り合い、対応していく。                     |
| ④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0   | 4  | ・今年度は行うことができなかった。 | ・今後、検討していく。                                      |  |
| 非常時等の対応                               | ④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している                                  | 4  | 0                 | ・マニュアルを作成し、職員間で共有している。                           | ・それぞれのマニュアルについて定期的に職員間で確認していく。                           |
|                                       | ④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 4  | 0                 | ・併設園と合同して避難訓練を実施している。                            | ・毎回避難訓練日誌に記録し、反省事項について改善するようにしている。                       |
|                                       | ④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 4  | 0                 | ・契約時に聞き取りを実施し、職員に周知している。                         | ・引き続き、契約時に聞き取りを実施する。                                     |
|                                       | ④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 4  | 0                 | ・契約時に聞き取りを実施し、職員に周知している。<br>・通所施設のため食事をとる場面がない。  | ・食事をとることはないが、契約時の聞き取りで把握していく。                            |
|                                       | ④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 4  | 0                 | ・ヒヤリハット事例集については職員間で共有し、事例があった際にはすぐに対応できるようにしている。 | ・ヒヤリハットの事例があった場合は、教室の配置図に記入し、職員間で情報を共有する。                |
|                                       | ④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 4  | 0                 | ・職員全員が毎月1回虐待チェックを行っている。                          | ・虐待チェックを継続するとともに、研修内容の充実を図る。                             |
|                                       | ④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している                           | 0  | 4                 |  | ・これまでに身体拘束を行う事例はなかったが、やむを得ず行う場合の判断基準及び対応について組織として決定していく。 |